

男の井戸端会議

東戸塚地域ケアプラザの呼びかけで 2006 年に 3 名のメンバーで話し合いを行って活動を開始し、現在は 142 名の会員がいます。会の運営や進行にあたっては、「会費無し」「規則無し」のうえ、特にテーマも決めずに参加者が自由に語り合うという、まさに“男の井戸端会議”です。時間内では話し足りず、そのまま二次会へということも。

また、会の交流を縁に「健康麻雀ゆうゆう会」「旅・たびサークル漫遊」「ボウリングサークル」「お風呂の会」などの活動が派生しています。

活動が長く続いた秘訣は「結果を求めなかったこと」、目的や結果を考えすぎてしまうと前に進めなくなるので、何も求めないことが続いた秘訣とのこと。

仕事でもなく、地域だけのつながりは宝なので、勇気をもって地域の活動に一步踏み出してもらいたいとのこと。



世話人の皆さん

現在コロナウイルス感染予防のため活動を休止しています

開催 毎月第二火曜日15時～17時
会場 東戸塚地域ケアプラザ
参加対象 男性
会費 無料
問い合わせ先
東戸塚地域ケアプラザ TEL 826-0925

詳しくは
「男の井戸端会議10周年記念誌」をご覧ください。

<http://www.yokohamashakyo.jp/higashitotsuka/hareyakatsuushin.html>

男の井戸端会議

1 何をくよくよ するんじゃないよ
内にこもって ぐちるな泣くな
どうせこの世は たった一度の夢芝居
どンドン行こうぜ 男じゃないか
胸を開いて 語ろうじゃないか
男の男の 井戸端会議

2.3番に続く

男でいカフェ

男でいカフェは、とつか de ネット（お互いさまの支え合いの”わ”を拡げる活動）が地域活動に参加する男性の仲間を増やしたい思いで始めた活動の一つです。男でいカフェのメンバーは戸塚区役所等が主催した第2回とつか地域づくり大学校やとつか de ネットが主催したコーヒーの淹れ方講座に参加した男性が中心となり活動しています。男でいカフェの名前は、男性がコーヒーを入れるカフェをお洒落に表現しています。現在の主な活動は、東戸塚にあるケアハウスゆうあいで、2ヶ月に1回2時間、コーヒー好きの入所者のために、コーヒーを淹れています。毎回、50人ほどの方が来て下さり、テーブルには一輪の花を飾り雰囲気も楽しんでいただいています。私たちはコーヒー好きの仲間とともに、自分たちの出来る活動をお互いさまの精神で行っています。

しかし、メンバー集めには今も苦労しています。少ないメンバーですが、美味しいコーヒーを淹れるため日々研鑽を積んで皆様からお声がかかるのを楽しみに活動しています。

今後、地域の集まりや講座のプレイクタイム等、コーヒーを淹れる機会があれば、お声掛けください。地域の皆様とのふれあいを大切にしていきたいです。



主催者の声

男でいカフェは、誰でも参加できるボランティア活動で、メンバーも随時募集しています。

メンバーが集い不定期に美味しいコーヒーの淹れ方の練習会をしています。興味のある方は覗きにいらしてください。（コロナ禍自粛中）

現在コロナウイルス感染予防のため活動を休止しています

開催 依頼を受けた時 不定期
会場 東戸塚、戸塚駅周辺
問い合わせ先
阿部 晴幸 TEL 070-5562-8353



美味しいコーヒーを淹れています

連載

福祉人材シリーズ 戸塚の輝くひと vol.13

一吉田矢部地区の特徴を教えてください

吉田矢部地区は、主に吉田町と矢部町の10町内自治会、約3,400世帯で構成されており2017年5月に設立した3年目の若い地区です。

特徴は、①柏尾川両岸沿いと八幡山一帯で四季折々風光明媚で富士山を望め、春は桜花が一带に咲き揃い②戸塚駅が間近な為に戸建てよりマンションが多数、③現役世代と子供が多く年々増加傾向です。

一地区社協の活動について教えてください

地区内例年行事としては、健民体育祭、花火大会、ポーリング大会等を催し、また、更に親睦と親和を図る為に高齢者の懇話食卓会、小学生のドッチボール、青少年以上のソフトバレー等の大会を催し子供から高齢者同士の交流も盛んです。

また、町内自治会独自として桜祭り・夏祭り・秋祭りを催し地域内の行き来も盛んです。

一これからの地区社協活動についてどのように考えていますか

昨年、各町内自治会で活動中の行事アンケートを実施し防火・防災活動、将棋、囲碁、ゴルフ、写真等の多彩に亘るイベントとか同好会等がある事が判りました。

今後は、それらを生かし町内自治会間で情報共有を企り住民同士でのコラボレーションを支援し親近感のある「笑顔と挨拶で紡ぐ安心のまち吉田矢部」を目指したい。

一ひとこと

子供から高齢者まで安心・安全に暮らし笑顔で支え合い活気のある町づくりを目指します。



吉田矢部地区社会福祉協議会
会長 川畑 孝男さん

コロナ禍でのボランティア活動について

横浜市社会福祉協議会では、コロナ下においても地域におけるつながり・支えあいを大切に、住民の皆さんや関係機関・団体の皆さんと協力して地域づくりを進めていくため、各種ガイドライン・手引きを策定しています。

ボランティア活動にしかできない、身近な地域での支えあいや、つながりづくりを大切にしたい。その思いから「ボランティア活動は私たちのまちの宝物」～これからも「つながり、支えあう」ために～を作成しました。活動の目的を見つめなおすところから、私たちと共に考え、取り組んでいただけたらと願っています。

横浜市社会福祉協議会ホームページ内 [ポストコロナの地域活動](#)にてご紹介しています

令和元年度 戸塚区社会福祉協議会事業・決算報告

戸塚区社協では、第3期戸塚区地域福祉保健計画（とつかハートプラン）の基本理念である「誰もが安心して心豊かに暮らすことのできる地域社会の実現」を目指して、各種取組や事業の推進を図っています。

令和元年度は企業・事業所と社会福祉法人や地区社協等と結びつける試みを通じて新たな連携の方策を探り、社協の役割である「ニーズと支え手をつなぐ」働きに加えて、支えて同志のネットワークが強められるよう意識して取り組みました。

R元事業報告及び決算、R2事業計画及び予算の詳細は本会ホームページをご覧ください。

収入

	令和元年度決算概要	令和2年度当初予算
会費	5,280,280	5,308,000
分担金	1,245,393	1,000,000
寄付金	781,198	1,000,000
経常経費補助金	23,057,620	22,307,157
受託金	29,272,172	30,072,000
事業収入	1,408,805	1,323,000
負担金	495,934	500,000
受取利息配当金	127,800	131,000
その他の収入	307,932	196,000
基金取り崩し・繰越金	0	4,117,443
合計	61,977,134	65,954,600

支出

	令和元年度決算概要	令和2年度当初予算
人件費	19,399,459	23,525,000
事業費	14,912,901	13,156,600
事務費	2,258,658	4,161,000
分担金	882,531	1,078,000
助成金	22,038,000	23,701,000
負担金	297,773	333,000
その他の支出	50,000	0
繰越金	2,137,812	-
合計	61,977,134	65,954,600